

## 2019年度 放送番組審議会議事録

【開催日時】 2019年11月29日（金） 午前10時00分～11時30分

【場 所】 株式会社ケーブルネット下関 2F会議室

【出席者】

放送番組審議会：6名 ※敬称略・順不同

<会 長>

高山 剛 （下関商工会議所 参事）

<副会長>

砂原 雅夫 （下関市立大学 理事・事務局長）

<委 員>

沼 孝宏 （サンデン交通株式会社 取締役総務部長）

山本 昌信 （林兼産業株式会社 常任監査役）

広瀬 誠 （株式会社みなと山口合同新聞社 執行役員 山口新聞 営業局長）

中川 章 （下関商工会議所 事務局長）

放送番組審議会事務局：6名

岩尾 克也 （株式会社ケーブルネット下関 代表取締役社長）

藤野 悦郎 （株式会社ケーブルネット下関 常務取締役）

仲川 圭 （株式会社ジェイコム九州 地域コミュニケーション統括部 部長）

本田 憲生 （株式会社ジェイコム九州 地域コミュニケーション統括部 北九州事務所長）

有馬 教之 （株式会社ジェイコム九州 地域コミュニケーション統括部 制作グループ）

山下 真由美 （株式会社ジェイコム九州 地域コミュニケーション統括部 制作グループ）

【議事内容】

※開会前に、事務局新任の2名（本田、有馬）を紹介

1.開会

1) 会長挨拶

高山会長

2) 新委員挨拶

中川 章 氏 （下関商工会議所 事務局長）

3) ケーブルネット下関代表挨拶 （岩尾 代表取締役社長）

ケーブルネット下関に今年6月赴任。

J:COM入社21年目で北九州局を皮切りにカスタマーセンターなどで勤務。

下関でもお客様目線で経営に携わりたい。

ケーブルネット下関は、昨年8月に20周年を迎えた。昨年12月に4K放送が始まり、来年には東京五輪控え、益々テレビ放送の注目度が高まっている。今回も自主制作番組において忌憚のない意見を承りたい。

2.番組編成方針 （仲川 地域コミュニケーション統括部 部長）

※J:COMグループ全体の概要を2019年の会社概要・編成方針の資料を基に説明。

全国でのコミュニティチャンネル（以下コミチャンという）の視聴可能世帯数は1,387万世帯。

下関エリアの視聴可能世帯数は、6万8千世帯。

Jチャン・Jテレと2つのコミチャンを運営している。

Jチャンは、地域密着。Jテレは、地域から全国発信がコンセプト。

地域との窓口として地域プロデューサーを設置しており、地域のためにできることを念頭に活動している。

また世界中でコミチャンが視聴可能な「ど・ろーかるアプリ（無料）」の普及に努めている。

尚、今年度から組織改革（法人ごとにコミチャンを運営）によりコミチャン運営が親会社ジュピターテレコムから株式会社ジェイコム九州への業務委託に変更。

質疑応答)

委員：ど・ろーかるアプリのダウンロード数は増加しているか。

事務局：徐々に増えている。どうやって爆発的に増やしていくかが最大の課題。

委員：番組制作は、ケーブルネット下関がジェイコム九州に業務委託しているのか。

事務局：その通り。

委員：今後のエリア拡大はあるのか（豊田町や豊北町）。

事務局：直近では考えていない。地方行政において、今後5Gや地域ローカルの無線を発展させインフラを構築する方向で進むものと予想される。地域企業として、次世代の地域メディア発展と合致するところで考えたい。

### 3.2019年度放送番組内容について（事務局）

※2019年度番組紹介の資料を基に説明。

レギュラー番組については、毎月14本を制作・放送している。

うち下関に特化した番組は、7本。（グループで7本）

コミチャンの根幹番組である「デイリーニュース」は、今年度から週1本の放送を3本に増やした。

これにより地域のトピックスを広く取材できるようになった。

また特別番組も制作。「しものせき海峡まつり」、「関門海峡花火大会」を例年通り生中継し、中でも海峡まつりでは、初めて「先帝祭」の模様を生中継した。

「関門海峡花火大会」に関しては、全国的に認知してもらえるイベント・番組にしていきたい。

今年、国体の文化事業としてeスポーツ大会が開催された。その山口県大会の模様を番組にして放送した。

そして前田晋太郎下関市長がまちを案内する新番組「長々と散歩」が10月からスタート。

ジェイコムグループが全国的に放送している番組であるが九州・山口では、初。

市長も大変協力的で、ご当地エリアを深掘した内容となっている。

さらに山口県ケーブルテレビ協議会の8局共同制作番組を2作品制作・放送。

一つは、山口県が制作した「防災クイズ」を映像化したもの。

もう一つは、やまぐちで活躍する女性をフィーチャーした番組「やまぐちで輝く女性たち」。

それぞれの局が共通テーマの下、1本ずつVTRを制作し、それを県内8局のエリア内で、週替わりに放送した。

#### ※自主番組上映 計20分

（下関市移住定住イベント「住んでみいね・すみっこって住みやすい」生中継、しものせき海峡まつり、関門海峡花火大会、長々と散歩。審議は、山口県ケーブルテレビ協議会8局共同制作番組「やまぐちで輝く女性たち」海峡の風を感じてー女性船長物語-＜＞：COM下関制作＞）

#### 質疑応答)

・やまぐちで輝く女性たちに関して

委員：女性船長に対してどう思うかを取材したのは、職場のみか。

利用客が女性船長をどう思うかなどのコメントがあればよかったと思う。

事務局：乗客にインタビューを試みたがうまくいかなかった。

今後、ドキュメンタリーを制作する際は、多面的な意見を出せるよう注意する。

委員：同じ働く女性たちに勇気を与える内容だと感じた。

委員：番組の意図として特に「女性の働き方」にフォーカスしたものだったのか？

事務局：特に働く女性を意識しての制作ではないが、がんばっている女性のありのままの姿から視聴者に何か感じていただけるものがあるのではと考えた。

委員：あつという間の放送時間だった。主人公の姿が自然体でとても輝いて見えた。  
関門汽船の常務のインタビューや挿入映像などのタイミングが良く、説得力あった。  
現場音を活かした構成で番組に集中できてよかった。

・コミュニティチャンネル 12 チャンネルの番組全体について

委員：ケーブル TV といいながらも他の地上波と同じくらいの制作レベルになっている。  
特にここ 2 年ほどのクオリティの向上は目覚ましい。  
ただ一定の期間で同じ番組をやっている（再放送）のは気になる。  
再放送がいつまでとか表示したらよい。  
「関門海峡花火大会」の生放送だが画面上のテロップがカメラポジションなのかアングルのポジションなのかが分からなかった。全国放送だと尚更なのでは。

事務局：善処する。

委員：個人的なことだが TV は、チャンネルのザッピングで魅力的な番組があればよく視聴している。  
そういった意味で関門花火は、門司側からの下関の風景は下関市民として効果的な映像で魅力があり大変良かった。

事務局：現在、下関の魅力をお届けしようと「長々と散歩」に力を入れている。  
視聴者に身近なありのままの下関の景色・エピソードを放送している。  
また市の公共施設などに番組ポスターを掲示したり、YouTube で視聴できるようにしたりして認知度向上にも努めている。

4.2020年放送番組について

事務局：次年度の予算についてはこれからだが、今後の番組制作についての方向性など考えている。  
他局との差別化のためにどう工夫したらいいか、どんなコンテンツが必要なのか、目に留まる番組作りなど委員の方々に何かアイデアを承りたい。  
特に「デイリーニュース」は、コミチャンの根幹番組。現状の週 3 本放送の妥当性についてもご意見を承りたい。

委員：現状のままでいいと思う。「デイリーニュース」は、速報性がなくてもいいのであれば、週 1 本でもいいのではないかと。再放送は、見逃した人のことを考え、あつの方がいいと思う。

委員：「デイリーニュース」で消防情報を放送しているがデイリーの火災件数を放送する意味があるのか。再放送を見た人が戸惑うのではないかと。火災予防の啓発情報などの方がいいと思う。

委員：定点カメラに関して、大きな災害はもちろん、風水害時にもタイムリーな映像があるとわかりやすい。

事務局：「デイリーニュース」に関しては、頂いたご意見を参考に善処する。

事務局：定点カメラに関しては、現在の海峡ゆめタワー以外にも市内数か所に置きたいと考えている。  
日常でも、朝の渋滞状況を見て身支度の判断をするといった情報源になると、コミチャンの視聴習慣がつくと思う。次年度以降も防災・選挙情報は、極力実施していきたい。

## 5.新会長の選出

高山会長の退任に伴い、互選により新会長に中川氏（下関商工会議所）が選任。

以上



